

第44回： 硝酸・亜硝酸性窒素汚染対策に向けた新たな展開

開催日： 2002年11月13日(水)～14日(木) / 会場： 品川区立総合区民会館
「きゅりあん」東京都

開催趣旨： 硝酸・亜硝酸性窒素による地下水汚染の顕在化と水環境保全の観点から、積極的な汚染対策と保全施策の推進を目的とした環境関連法がここ数年の間に整備され、新たな展開が期待されています。しかし、汚染源は農地などの面源や家畜排泄物など複雑多岐にわたっており、地域特性をも考慮した総合的対策が必要なことから、多くの自治体で取り組みに苦慮しているのが現状です。一方、効率的で維持管理が簡単な水処理技術も普及しておらず、一部の業種では今後の排水基準遵守も困難な状況となっています。

そこで、窒素循環の視点から農畜産業などの食の問題と汚染対策を考えていくとともに、汚染地下水や高濃度排水に適用可能な最新の高度処理技術を紹介するセミナーを企画しました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染の現状と対策（丸山雅司／環境省環境管理局水環境部 土壤環境課地下水・地盤環境室）
- 硝酸・亜硝酸性窒素による水道水源汚染と健康影響（国包章一／国立保健医療科学院水道工学部）
- 食料システムの窒素循環と水環境（袴田共之／独立行政法人農業工学研究所）
- 環境保全型農業と硝酸性窒素汚染対策（日高伸／埼玉県農林総合研究センター）
- 畜産における排水問題の現状と今後の取り組み（田中康男／独立行政法人農業技術研究機構 畜産草地研究所）
- 高度な硝酸・亜硝酸性窒素の水処理技術（稲森悠平／独立行政法人国立環境研究所 廃棄物研究センター）
- リアルタイム制御による畜舎排水の高度窒素除去（金主鉉／埼玉県環境科学国際センター）
- 硝酸含有工場排水を対象とした生物学的脱窒素処理（横幕豊一／環境エンジニアリング(株)）
- 硝酸性窒素汚染により酸性化した地下水・湧水の修復（宮永俊明／新日鐵化学(株)）
- 水道水源地下水を対象とした硝酸性窒素除去（野中信一／神鋼パンテック(株)）